

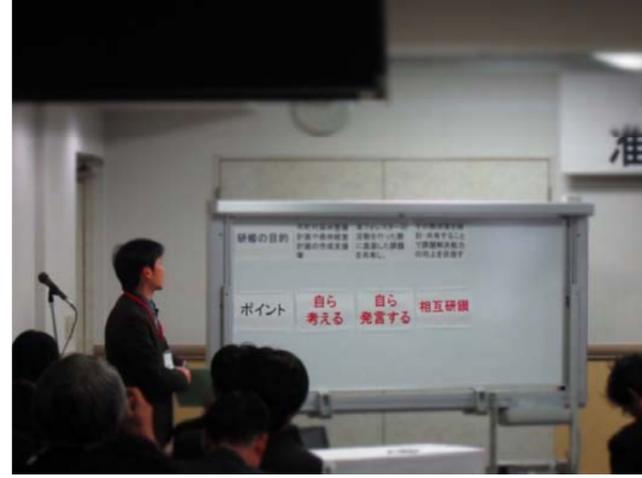


2012. 2. 1

① 第2回集合研修が始まります。第1回目と同様、全国から約50名の代表が東京晴海にある研修場所に集まりました。



② 皆川林野庁長官の開講のあいさつでは、森林・林業再生に向けた課題とフォレスターへの期待について話がありました。



③ 研修に入る前に、S. Pファームの近藤さんから研修の目的について説明がありました。



④ 最初の活動報告。自然産業研究所の大石さんから試行フォレスター等の活動状況について説明がありました。



⑤ 続いて准フォレスターの活動報告です。北海道の辰見さんから「フォレスターとしての活動と今後の役割について」と題して、計画作成のための作業チームの活動報告やフォレスターの今後の活動などについて報告がありました。



⑥ 続いて兵庫県の小長井さんの報告です。「連携で切り拓く流域林業の活性化」について、苦労話を交えて望むべきフォレスター制度について話がありました。



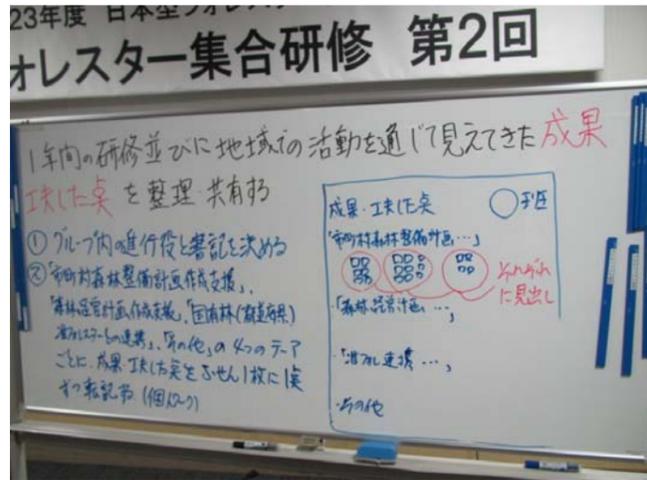
⑦ 活動報告の後は、グループに分かれてワークショップの始まりです。



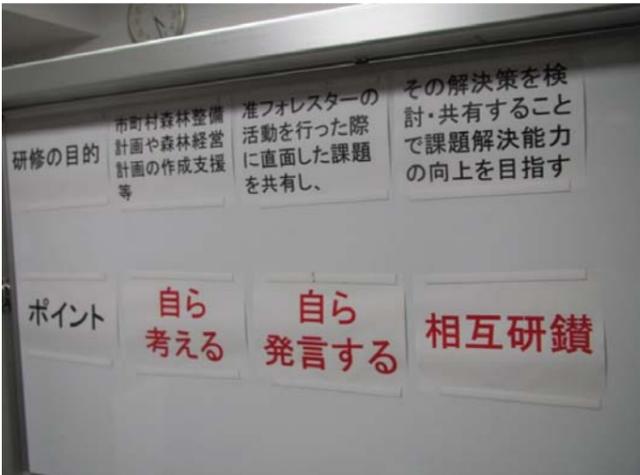
⑧ 初顔合わせということもあり、最初は緊張気味です。



⑨ まずは自己紹介を兼ね、この1年間を通してやってきたことに対する成果や工夫した点などについて1人ずつ発表します。



⑩ グループでまとめる内容です。



⑪ ブロック研修と同様のやり方で准フォレスター活動を通して感じた課題の共有と解決策の検討を行います。



⑫ 各人の発言はグループで共有し、模造紙に書き込みます。



⑬ 明朝の発表に備えしっかりと打合せを行います。

2012. 2. 2



①  
2日目は朝一番から(中間)発表です。



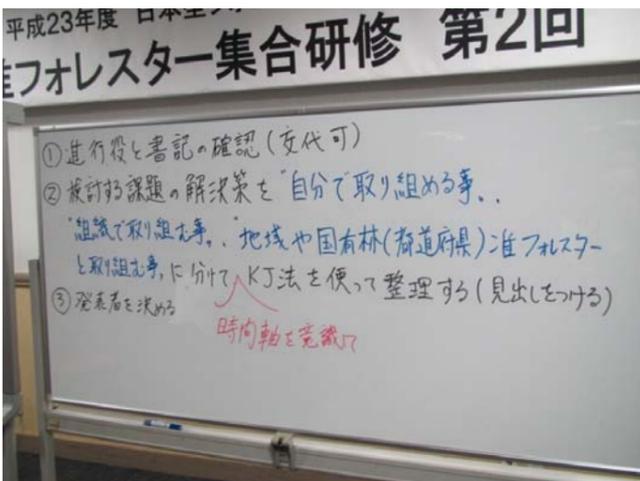
②  
各班から発表者が前に出て途中経過を説明します。



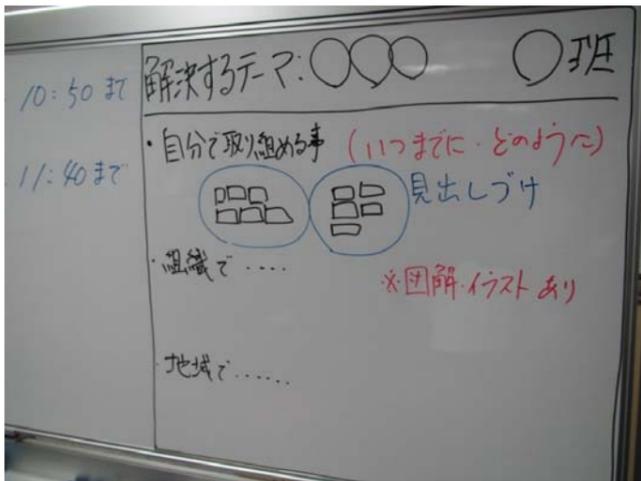
③  
発表項目を箇条書きにし、発表内容については、どの班も清書する余裕がないのか付箋に書き込んでいます。



④  
5分以内で説明しないといけないため、時間のコントロールに苦労します。



⑤  
各班からの発表を終えたところで、午後に行う発表について説明があります。



⑥  
午後の発表内容です。



⑦  
午後の発表に向け、課題解決策の検討と整理について再度グループ内で検討を行います。



⑧  
昼休み終了後すぐに発表なので時間に追われます。



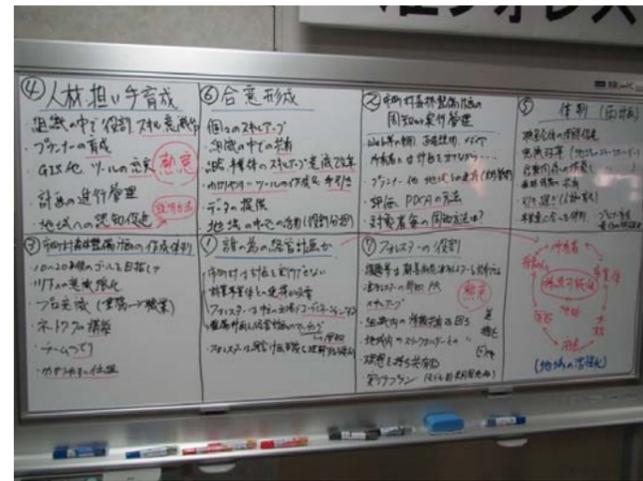
⑨ 午後になり発表開始です。課題と解決策について、各班でまとめた成果を発表します。



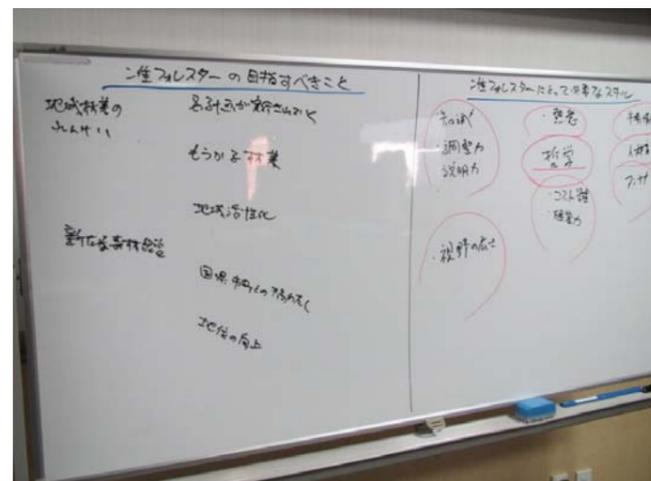
⑩ 課題を取り上げた経緯と解決策の検討内容等について全体で共有します。



⑪ もちろん質疑応答も行います。



⑫ 発表内容をまとめたものです。各班1課題とその解決策について発表しました。



⑬ 発表のあとは、フォレスターが目指すべきことと必要なスキルについて、個人の思いを述べてもらいました。



⑭ 最後は小島首席計画官から閉講のあいさつです。研修、お疲れ様でした。